

2025

## 第12回科学技術教育フォーラム

一人ひとりの輝きを引き出す“探究”を目指して  
——質の高い探究する力を育てる科学的問題解決法——

AI、データサイエンス（DS）に象徴されるデジタル化の進展は、産業構造の大変革を世界規模で引き起こしつつあります。この激動の時代において、将来を担う人材の育成は、産官学が連携して取り組むべき喫緊の課題です。現在、初等中等教育においては、「探究」や「探究的な学び」が重視されておりますが、“活動的な学び”にとどめず、**目的を明確にし、問いを立て、適切なデータに基づいて問題の原因を特定し、解決に向け行動する**

『科学的な問題解決のプロセス』を導入することが大切です。また、AI・DSにおいて本質的に重要なのは、情報技術の活用そのものではなく、問題解決の目的の明確化、条件設定、評価基準の策定、ストーリーの構築といった「科学的問題解決力」です。この力は、単なるスキルを超えて、「自己肯定感」「生きる喜び」そして「生きる力」の涵養にもつながる、**すべての人が身につけるべき人間的・倫理的基盤**でもあります。産業界には、現場における主体的・協働的な改善活動を通じて、データに基づく問題解決力を実践的に育んできた豊かな蓄積があり、この実践知を教育の現場と共有し、**校種（小・中・高）、教科間、学年間を超えて通用する“共通の理念”と“方法論”**を明示するとともに、**各参加者が「自校・自組織ではどう活かせるか」を具体的に考えられる機会**とすることが、本フォーラムの最大の目的です。

産官学が一体となって新たな教育のかたちを共創し、デジタル時代にふさわしい教育改革と、未来の学習指導要領の方向性について議論を深めてまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 1. テーマ

『一人ひとりの輝きを引き出す“探究”を目指して』

## 2. 日 時

令和7年 10月5日（日） 13時00分～18時00分

## 3. 開 催

統計数理研究所大会議室：Zoom ハイブリッド開催

## 4. 参加費

無料

## 5. プログラム（敬称略、講演タイトルは変更する可能性があります）

開会挨拶 ……………（一社）日本品質管理学会 会長 山田 秀

## 第1部 特別講演

司会：立正大学 教授 渡辺 美智子・実践女子大学 教授 竹内 光悦

## ・デジタル学習基盤における学習指導要領の改訂—質の高い探究の実現に向けて—

……………文部科学省 初等中等教育局 主任視学官 田村 学

## 第2部 基調講演

## ・STEAM等の教科等の特質を基にした探究の在り方

……………文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター基礎研究部総括研究官 松原 憲治

## ・Mindsetを基盤とする探究と科学的問題解決法

……………日本品質管理学会 元会長 / 同TQE特別委員会 委員長 鈴木 和幸

## ・「問題解決の日本社会への普及を目指して」—総合的な探究の時間における実践を通して—

……………株式会社クオリティ・クリエーション 代表取締役 古谷 健夫

## 第3部 総合討論

司会：情報・システム研究機構

椿 広計

閉会挨拶 ……………東京学芸大学 教授 西村 圭一

## 6. 共催・協賛・後援（予定）

共催：日本品質管理学会、統計数理研究所、日本統計学会、応用統計学会、日本信頼性学会  
東京学芸大学高校探究プロジェクト

協賛：日本科学技術連盟、日本規格協会、統計関連学会連合、横断型基幹科学技術研究団体連合  
日本クオリティ協議会

後援：文部科学省、総務省

## 7. 申込み

申込みサイトへは下記URL、または、右のQRコードよりアクセス下さい

URL：<https://rois.zoom.us/meeting/register/qi93xBcIQA6eeEyPYkij3w>

## 8. 問合せ先

E-mail [tqe.office@gmail.com](mailto:tqe.office@gmail.com)

申込みURL



# プログラム (敬称略)

※プログラムは変更の可能性がございます

13 : 00 ~ 13 : 05

開会挨拶

日本品質管理学会 会長 山田 秀

## 第1部 特別講演

司会 : 立正大学 教授 渡辺 美智子・実践女子大学 教授 竹内 光悦

13 : 05 ~ 14 : 05

**デジタル学習基盤における学習指導要領の改訂一質の高い探究の実現に向けてー**

文部科学省初等中等教育局主任視学官 田村 学

(休憩 15分)

## 第2部 基調講演

14 : 20 ~ 14 : 55

**STEAM等の教科等の特質を基にした探究の在り方**

文部科学省 国立教育政策研究所

教育課程研究センター基礎研究部総括研究官 松原 憲治

14 : 55 ~ 15 : 40

**Mindsetを基盤とする探究と科学的問題解決法**

日本品質管理学会 元会長 / 同TQE特別委員会委員長 鈴木 和幸

15 : 40 ~ 16 : 25

**「問題解決の日本社会への普及を目指して」**

**ー総合的な探究の時間における実践を通してー**

株式会社クオリティ・クリエイション代表取締役 古谷 健夫

(休憩 15分)

## 第3部 総合討論

16 : 40 ~ 17 : 50

司会 : 情報・システム研究機構 椿 広計

17 : 50 ~ 18 : 00

閉会挨拶

東京学芸大学 教授 西村 圭一